

# 開館日カレンダー 2020年10月～2021年3月までの予定

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
25	26	27	28	29	30	31	29	30												

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28							28	29	30	31			
31																				

■ 休館日   
 ■ こどものかたち—創作人形の力展   
 ■ 天野家の雛祭り   
 ■ 展示室1・2（常設展）のみ開室  
● 常設展展示解説 午後1時30分～ ※申込不要、要観覧券  
 ※2021年2月22日（月）は開館一周年を記念し、特別開館します。3月23日（火）は臨時休館します。

## これからの展覧会

### 天野家の雛祭り—人形が彩る商家の暮らし—(仮)

2021年1月30日(土)—3月21日(日)

化粧水へチマコロンで知られる天野家より、2018年、約600件の人形資料が当館に寄贈されました。本展では天野家の雛人形を一堂に公開します。昭和初期の商家で、盛大に行われた華やかな雛祭り。どうぞお楽しみに。



内裏雛 昭和時代

### 御所人形—輝く肌の魅力—(仮)

2021年4月24日(土)—6月6日(日)

ふっくらと肥え、照り輝くような肌をした御所人形は、当時の人々が抱いた理想的な子供の姿です。本展では御所人形の名品と様々な種類の御所人形を紹介します。



御所人形 裸童 江戸時代

**【にぎわい交流館いわつき】** 博物館に隣接する、にぎわい交流館いわつきでは、体験講座やカフェをお楽しみいただけます。(Tel.048-757-2981 / Fax.048-793-4074)

**【編集後記】** 開館9日です。休館という事態も乗り越え、おかげさまで開館半年を迎えることができました。感謝の気持ちを込めて、ニュースレター第1号をお届けします。

#### 基本情報

**【開館時間】** 午前9時～午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで  
**【休館日】** 月曜日（休日の場合は開館）／年末年始（12月28日～1月4日）※臨時に休館・開館することがあります。  
**【観覧料】** 一般：300円（団体：200円）／高校生・大学生：65歳以上：150円（団体：100円）／小学生・中学生：100円（団体：50円）  
 ※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。※団体は20名以上。※展覧会により観覧料が異なる場合があります。  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館を制限したり、展示・イベント等を予告なく中止・変更する場合があります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。  
 ※掲載資料のうち、特に表記のないものはさいたま市岩槻人形博物館蔵です。



#### 交通案内

**【電車をご利用の場合】** 東武アーバンパークライン（野田線）「岩槻駅」から徒歩約10分  
 ※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。  
**【車をご利用の場合】** 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分  
 ※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。



〒339-0057  
 埼玉県さいたま市岩槻区本町6丁目1-1  
 Tel.048-749-0222 Fax. 048-749-0225  
<https://ningyo-muse.jp/>  
 IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS Vol.01  
 2020年9月発行 編集・発行：さいたま市岩槻人形博物館

※このリーフレットは24,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約11円です。  
 ※来年度以降の事業については、さいたま市議会2月定例会での議決後に確定します。

# IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS

Vol. 01

かわいい、だけじゃない。



桃太郎 平田郷陽作 昭和時代  
こどものかたち—創作人形の力展

## 特集 こどものかたち—創作人形の力展 ~平田郷陽・野口光彦を中心に~

**Contents**  
 特別展「こどものかたち—創作人形の力展」／常設展 close-up／イベント information／  
 学芸員の研究ノート第1回「西澤笛吹—古今東西、豊かなコレクション」／  
 開館日カレンダー／これからの展覧会



# 特別展 「こどものかたち—創作人形の力展<sup>ちから</sup>〜平田郷陽・野口光彦を中心に〜」

2020年10月3日(土)―11月23日(月・祝)／展示室3

本展では、昭和初期に、人形芸術運動で人形の芸術的価値を高めることに尽力した、平田郷陽(1903-1981)と野口光彦(1896-1977)の二人の人形作家を中心に、作家の手による子供や親子のかたちを表した作品を紹介いたします。彼らは、それぞれ職人として人形の製作に関わっていましたが、やがて伝統的な技術を受け継ぎながらも、その型から抜け出し、オリジナリティあふれる人形を生み出しました。彼らの作る「こどものかたち」を通して、その美しさや、現代にまで通じる、人形の持つ「力」を感じていただけましたら幸いです。

《観覧料》  
一般 500円(350円)／高校生・大学生・65歳以上 250円(150円)／小学生・中学生 150円(100円)  
※( )内は20名以上の団体料金。 ※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。 ※あわせて展示室1・2(常設展)もご覧いただけます。 ※年間パスポートをお持ちの方は追加料金なしでご覧いただけます。

《関連イベント》  
**1 講演会「ハッピーのうつわ：野口光彦を中心に」**  
日時：10月10日(土) 午後2時～3時30分／講師：今井陽子氏(東京国立近代美術館工芸館主任研究員)

**2 講演会「『創作』のありか—郷陽、光彦、堀柳女をめぐって」**  
日時：11月8日(日) 午後2時～3時30分／講師：本橋浩介氏(佐倉市立美術館副主幹・学芸員)

**3 学芸員によるスライドトーク**  
日時：10月11日(日)、25日(日)、11月3日(火・祝)、21日(土)／いずれも午後1時30分～(30分程度)／※申込不要、要観覧券。当日会議室前にお集まりください。 ※参加人数を制限する場合があります。  
\*関連イベント**1・2**の申込方法等詳細は、[展覧会チラシ](#)及び当館ホームページをご覧ください。



## 見どころ紹介 **ぜひ** を見てください!

### リアル、デフォルメ、御所人形… 様々な「こどものかたち」に注目!

人間国宝・平田郷陽は、はじめ生人形<sup>いきにんぎょう</sup>の技術を学び、リアルな子供の人形を作りました。「泣く子」(画像)はその技術が遺憾なく発揮された作品で、まるでその場で本当に泣いているかのよう。後に作風はデフォルメ化しますが、いずれも一瞬の仕草を的確に捉えた、魅力あふれる人形ばかりです。

一方、野口光彦は、近代御所人形の創始者とも称され、御所人形の新たなかたちを追求し続けました。白い肌と滑らかな姿態の童子たちは、生命力にあふれ、神秘性すら感じさせます。

そのほかにも、郷陽・光彦周辺の人形作家や、さいたまゆかりの人形作家の作品など、人形制作の技法や、子供の造形へのアプローチの方法は、実に三者三様です。

作家によって様々な表現される「こどものかたち」。ぜひ会場をご覧ください。

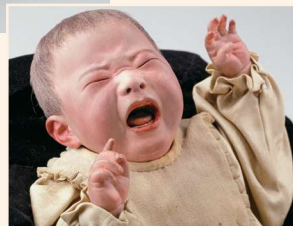
※人の姿そっくりに似せて作った等身大の人形。



泣く子  
平田郷陽作 昭和11年(1936) 個人蔵



童心戯笛  
野口光彦作 昭和31年(1956)



泣く子(部分拡大)

## 常設展 Close-up

当館は、展示室1「埼玉の人形作り」・展示室2「コレクション展示 日本の人形」が常設展ですが、資料保存のため定期的に展示替えを行っています。常設展だからといって油断禁物、お見逃し無いようにお願いします!

### 矢の根 平田郷陽作

昭和17年(1942)  
展示室2  
2020年8月25日(火)～11月29日(日)

見開いた目やまつ毛がリアル! 歌舞伎「矢の根」に取材したもので、曾我五郎が矢を研ぐ息づかいが今にも聞こえてきそうです。特別展とあわせて、平田郷陽の技をお楽しみください。



### 人形製作道具 巻藁

展示室1  
通年展示

巻藁を束ねて作られる巻藁は、人形作りには欠かせない道具です。頭や手足を挿して、胡粉などの顔料を乾かしたりするのに使います。縁側に巻藁が並ぶ風景は、岩槻の風物詩となっていました。



## イベント Information

**1 実験・体験型ワークショップ にんらぼ なかのヒミツ・桐粉編**  
ゲストティーチャー：松口一栄氏(人形師)／日時：2020年11月14日(土)、午後2時～3時30分／会場：当館会議室／定員：16名／対象：小・中学生(小学3年生以上)／参加費：無料／応募締切：10月14日(水) ※消印有効

**2 つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～**

日時：2020年12月6日(日) 午前10時～12時／会場：当館会議室／定員：16名／対象：小学5年生以上／参加費：200円／応募締切：11月4日(水) ※消印有効



**3 つくろう、おひなさま～ふし雛の絵付け体験～**

日時：2021年2月7日(日) 午前10時～12時／会場：当館会議室／定員：16名／対象：小学3年生以上／参加費：400円／応募締切：1月6日(水) ※消印有効



### 【申込方法】

上記**1～3**のイベントは事前申込が必要です。往復はがきに①参加希望イベント名、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号を明記のうえ、当館までお送りください。※小・中学生の場合は、⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)もご記入ください。※はがき1枚につき、2名1イベントずつ応募可能。応募者多数の場合は抽選。複数応募は無効。  
\*イベント**23**は大人の方の参加も大歓迎です。

### 《申込先》

〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6丁目1-1  
さいたま市岩槻人形博物館 宛

## 第1回 学芸員の研究ノート

## にしざわ てきほ 西澤笛畝—古今東西、豊かなコレクション

西澤笛畝(1889-1965)は、官展で一大勢力を築いた荒木派の花鳥画家として活躍するとともに、人形玩具研究家として知られています。義父・西澤仙湖の志を継いで人形玩具を収集し、昭和初期の人形芸術運動においても指導的役割を果たして人形の普及と芸術振興に大きく貢献しました。

当館は笛畝が集めた約3,500点の人形と玩具を所蔵しており、コレクションの柱となっています。日本の古典人形を中心に幅広いジャンルに及び、世界の人形も3分の1を占めます。昭和9年(1934)に雄山閣から刊行された『玩具叢書 世界玩具図篇』は笛畝の30冊近い著書のうち1冊になりますが、40か国以上もの人形や玩具が図版掲載されています。

なかでもタイの玩具は珍しいコレクションです。笛畝がタイ、当時のシャムに赴いたのは昭和6年(1931)11月から昭和7年(1932)1月にかけてのことです。バンコクで開催された外務省後援の暹羅日本美術展覧会における日本画部門役員となった

日本画の師・荒木十畝に随行し、タイに渡航しました。笛畝にとっては商工省の工芸品調査の委託も兼ねた旅となり、美術展終了後にはアンコール・ワットまで足を伸ばし、500点もの玩具を船便で持ち帰りました。当館には現在200点以上が残されていますが、これらは張子や土人形など素朴な民俗的玩具であり、近年のタイの急激な経済発展のなかで、現地ではすでに失われたものもあることでしょう。来年の秋の特別展で展示予定です。ぜひご期待ください。



西澤笛畝 バンコクの玩具店にて

(学芸員 菅原千華)



象の張子玩具